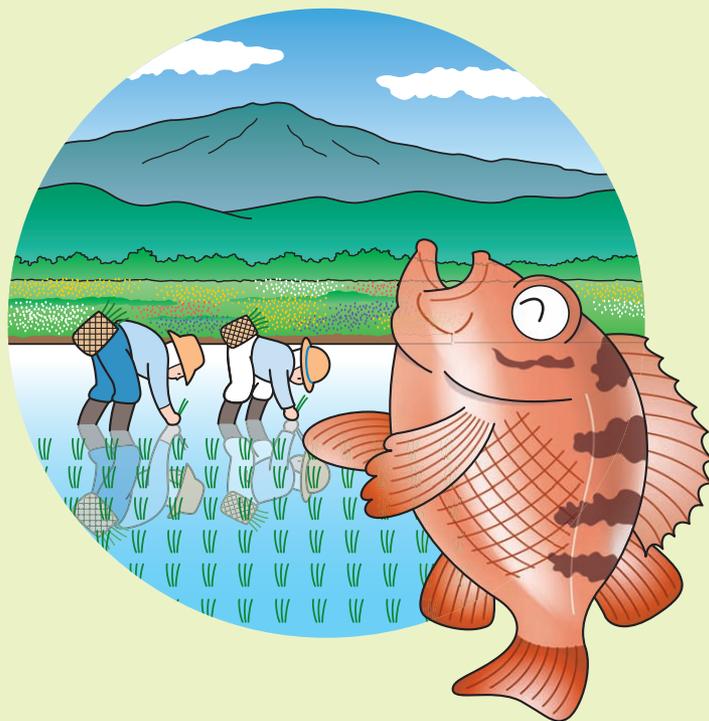


かいせいけん

# 海の豆知識

## Vol.43

★★★魚のことわざ★★★



日本海で出会ったアシカの仲間

2004年5月22日、青森県虻作崎(へなしざき)西方沖約170kmの日本海洋上。水深が4000m近くあるこの海域の色々な深度から海水を採取する作業にあたり、船は同じ場所に漂う一日でした。荒天明けの海況は急速に落ち着いて、実に穏やかな昼時の出来事です。

「トドだ!」と叫ぶクルーの声。見れば、怪獣ならぬ海獣一頭。3m程有りそうな巨体を敏捷に操り、本船間近を周回し、船底をくぐり抜け、顔を上げれば「ブハッ!」と派手な呼吸音を放つ。春の航海でこれほど迫力のある生き物との遭遇は初めてでした。

後に、専門家の方々に画像を観ていただき「飼育環境と異なるので断定出来ないか」と前置いた上で、「キタオットセイ?」の可能性もある、とのコメントを頂きました。

キタオットセイは日本沿岸では最も良く見られるアシカの仲間、メスの体長1.5m程に対し、オスは2mを超え別物のような迫力があります。日本海洋上での作業は、海鳥のギャラリーも少なく、もっぱら静かに進行する雰囲気慣れている所。時として迫力ある珍客の奇襲に驚かされます。もっとも、彼らにしてみれば、我々の方がよほど珍客なのでしょうけれど。

(中央研究所 海洋生物グループ 稲富 直彦)

(年間約3カ月にわたる海水、海底土採取航海\*の日誌から)

\*海生研は毎年、全国の原子力施設の沖合において海洋調査を行っています。

財団法人海洋生物環境研究所は、発電所の取放水等が海の環境やそこに生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査研究機関として、農林水産省、経済産業省、環境省の共管のもと、昭和50年に設立されました。

これまで大規模発電所の取放水が生物に及ぼす影響の解明を中心に、食の安全・安心や海生生物の保護に係わる海洋環境中の微量化学物質や放射能の実態把握等の調査研究を国や民間からの委託をうけて実施しております。

海の豆知識 第43号

平成22年4月 発行

発行所

財団法人 海洋生物環境研究所

事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町347 藤和江戸川橋ビル7階 ☎(03) 5225-1161

中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎(0470) 68-5111

実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎(0257) 24-8300

海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。

<ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>



財団法人 海洋生物環境研究所

# 魚のことわざ

〈その41〉

## ——メバル——

海とその生物にまつわる<sup>ことわざ</sup> 諺や格言<sup>かくげん</sup>についてお話ししましょう。

今回は、メバル(カサゴ目フサカサゴ科メバル属、和名: 目張<sup>めばる</sup>、英名: Darkbanded rockfish, Black rockfish)をご紹介します。

名前の由来は、読んで字のごとく眼がパッチリと大きく、飛び出しそうな魚だからです。地方によっては、メバリ(松江)、メバチ(越前、松島)、ハチメ(北陸)、ソイ(東北)、アオテンジョウ(紀州)などの名で呼ばれています。

棲んでいる環境によって、体の色が黒っぽいものから白っぽいもの、赤っぽいものまで変化に富み、それぞれクロメバル、シロメバル、アカメバルと呼ばれています。最近の研究で、これら3つが別々の種であることがわかりました。

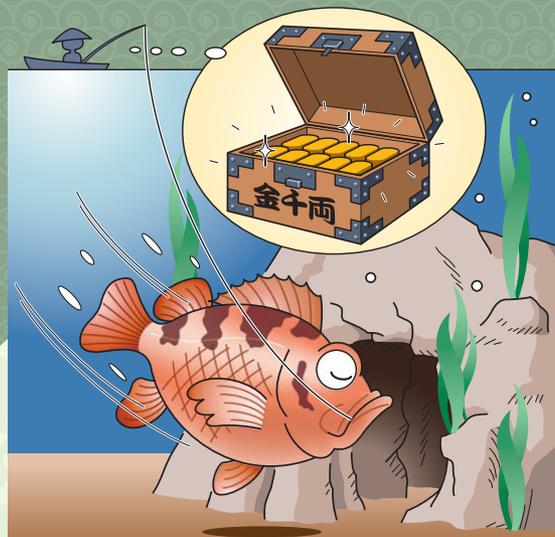
体は楕円形で側偏し、体側に不明瞭な暗色横縞が数条あり、体長は30cmに達します。

沿岸の岩礁域や藻場で単独または数尾、ときには10~20尾の群れをつくって生息しています。人工魚礁にはよく集まりますが、魚礁の内部に入ることは少ないようです。

胎生で、仔魚は卵巣内で孵化し、親魚の胎内で発育してから、冬に全長5mm前後になってから生み出されます。

主な漁法としては、手釣り、延縄、刺網、定置網があります。鮮魚として氷冷出荷され、店頭では丸のまま並ぶことが多く、春先から夏にかけてが食べ頃です。このため春告魚とも呼ばれ、俳句では春の季語になっています。

白身で身が締まっており、淡泊な味です。刺身に適しており、飲食店などでは姿造りにされることが多く、また小振りのものは、丸のまま唐揚げや煮付けにします。



1



### 「根ばなれ千両」 ね せんりょう

メバルなど根魚釣りは、魚に根(岩礁)の穴に潜らせて仕掛けを切られないよう、掛かったら間髪を入れず、全身で竿を立て根から離すことが肝要。根魚は岩礁の穴に潜られないように注意しろという教え。

2



### 「一に天候、二に船頭、三に仕掛け」 いち てんこう に せんとう さん しか

メバル釣りに言われる言葉。風がなく水面が鏡のような日は「目張風」で釣り日和。次は海底の状況をよく覚えていて上手に操船してくれる船頭次第。そして、視力がいいメバルは仕掛けが細かい方がよく釣れる。

3



### 「海のことば漁師に問え」 うみ りょうし と

海の船釣りでは船頭が絶対で、釣り人は如何に名人と自負しても、漁師から見たら所詮は素人。漁師はメバルなどの魚の集まる所をよく知っている。何事もその道の専門家に相談するのが得策であるとの教え。